

令和2年度 第1回上川町総合教育会議 議事録

- 1 日 時 令和2年11月16日(月)  
開会 10時30分 閉会 11時50分
- 2 場 所 上川町役場 中会議室
- 3 出席者 上川町 町 長 佐藤 芳 治  
上川町教育委員会 教 育 長 中野 俊 和  
教 育 委 員 安藤 智 昭  
教 育 委 員 桜田 紀 子  
教 育 委 員 菊地 由紀子  
教 育 委 員 谷 越 一 仁  
  
事務局 企画総務課長 西 木 光 英  
課 長 補 佐 片 岡 仁  
係 長 笠 本 瑞 貴  
教 育 次 長 高 橋 良 弘  
次 長 補 佐 熊 谷 奈 美  
係 長 今 井 美 起
- 4 議事録署名委員の指名について  
桜田委員、菊地委員
- 5 協議事項  
(1)「上川小学校・中学校の学校運営状況の中間評価」について  
(2) その他
- 6 議事経過の内容 別紙のとおり

発言者	発言概要
西木課長	<p>只今より、第1回上川町総合教育会議を始めます。</p> <p>開会に当たりまして、佐藤町長よりご挨拶を申し上げます。</p>
佐藤町長	<p>第1回上川町総合教育会議は、コロナの関係でずれ込んでしまいました。学校の対応もコロナ対応で大変な状況になっていると思います。</p> <p>学校現場だけじゃなく、保育所・幼稚園もそうですし、特に医療関係は大変厳しい状況だと思っています。国も感染防止対策の一方で、いかに経済を回復させるかという事にも重点を置いて、いろいろな手を打たれています。</p> <p>国や道や町の政策を含めて、この間手を打ってきている訳ですが、それらが功を奏して、経済的な部分は若干回復の兆しがあると思います。</p> <p>層雲峡温泉もどうなるかと大変心配していましたが、この効果があって7割程度全体的に回復をしてきたという事で実はほっとしていたのですが、残念ながら今こういう状況になって、先が見えなくなってきました。</p> <p>また、具体的にキャンセルも相当増えてきている実態もお聞きして、今後万全な対応をしていかなければと思っています。</p> <p>是非、学校もその他にも含めて、連携を取らしていただいて対応を進めたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>前教育委員の辻委員には、長い間ご尽力いただき、制度が変わるまでは教育委員長としても務めていただきましたが、今回降ろさせてほしいと強い要望があり、その中で快く本日出席していただいた谷越委員が後を受けていただく事になりました。大変ありがたく思っていますし、改めて感謝を申し上げます。この会議は初めてという事ですがよろしくお願いします。</p> <p>議題も是非委員から持ち込んで頂きたいと思っておりますし、今日はそれぞれ小学校・中学校の学校運営状況中間報告について、それぞれ校長先生からお話を聞かせていただくことにしたいと思いますのでご意見等いただければと思います。意義のある総合教育会議にして頂ければと思います。よろしくお願いします。</p>
西木課長	<p>それでは、以降議事録書名委員の指名から町長の方で進行をお願いします。</p>
佐藤町長	<p>それでは議事録署名委員を指名する事になっていますので、桜田委員、菊地委員お二人にお願いしたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか？</p> <p>(はいの声)</p> <p>よろしくお願いします。</p> <p>それでは協議事項に入らせていただきますが、小学校・中学校から説明いただくこととなりますので、中学校の校長先生からお願いします。</p>
武田校長	<p>毎年中学校に上川町から多大なる支援をいただいて、子ども達・保護者が非常に教育を受けやすい環境にあるということで、他の市町村にはない本当にまれな町というふうに私は常日頃思っています。色々な補助を頂いて教育活動を進めさせていただいていることに、この場を借りて感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。</p>

佐藤町長	<p>資料により説明（省略） 有難うございました。</p> <p>いろいろな教育現場で課題を抱えながら、ある意味での働き方改革等を含めた変換期にある中で、コロナの関係でなかなか思うように進まない大きな影響を受けているというお話を聞きました。あえて私の方から質問はしませんので感想なりご意見、質問等があればお願いします。</p>
谷越委員	<p>なかなかすばらしい取り組みに感銘を受けています。学校評価のアンケートの中で評価点と前回の見方、前年度の一年生と今年度の一年生の比較という事で簡単で言いますと2番目 68.4%ですから2年生だと 80.3%だと12%に上げっています。こういうのは年度によって入ってくる生徒によってかなり増減がある評価になるものなのではないでしょうか？一年一年成長するにつれて、そこに先生方のアプローチが入ってきて、PTA の活動とかが功を奏して育っていく事によってみんな確信的に上げっていく傾向なのかなのでしょうか？</p>
武田校長	<p>基本的には、勉強面については各専門の教科の先生方が教えますし、専門の立場でどんどんやるので上がり気味になるケースはあります。質問項目によっては上がり気味になるケースと質問項目によっては下がり気味になるケースと様々ありますが、トータルするといろんな分野は上昇傾向にあると私は押さえています。私は3年目ですけど、基本項目は基本的に上がる傾向にあります。受験近くになりますと、自分は少し勉強できないとか先程もお話ししましたが、自己肯定が下がるかそういうのは出てくるのかなとその様におさえているところです。</p>
谷越委員	<p>それを支えている教育という事で、例えば画一的にプリントを配るのではなくて、個別に自分で考えてやりたい事を選択し、考えながらそれに対して先生方がその個々の生徒に対して必要な物を提供するという、自ら育てていく形でサポートに行く事が、1年目にまずはそれを体験し、2年目、3年目と上がっていくにつれてよりそれをうまく解釈して結果に出していくといった教育体制のアンケート評価になっていると考えてもよろしいでしょうか？</p>
武田校長	<p>私はそう思っています。</p>
谷越委員	<p>あと、28番の人の役に立つ人間になりたいとすごく広い意味でとらえられていると思います。自分の将来進みたい道に即した人に役立つという事を、中学生の何年生ぐらいから芽生えてくるものなのではないでしょうか？</p>
武田校長	<p>中学生になると部活動があって、それぞれ自分の力がはつきり出る場所がある、そういう活動が随分広がります。吹奏楽であればどこかで発表した時にみんなが集まってきて「凄い上手だね、よくなったじゃない」と声をかけられるとまた喜ばれる演奏をしたい、野球も今年は優勝して大活躍をしたのですが、たくさんの方が応援に来て、ヒットを打った、こんな時いい守備をしたとかそういう認められた事から人の役に立ちたい、人に喜んでもらいたいという気持ちを自分のやっている取り組みが勉強だけじ</p>

	<p>やなく、部活動の専門的な部分でも伸びていく、いろいろな人に認められる      ところという気持ちが湧いてくると私は思います。ですから部活動もすごく      大事だと私は思っています。</p>
<p>谷越委員</p>	<p>生徒は体験を通じて周りに評価されて、自分のやった事が凄く実感でき      る。団体活動で共に感じられる感情というのがとっても功を奏している。</p>
	<p>ぜひ部活動を縮小するのではなく、何とか維持につとめていただければ      と思います。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>生活面のことなのですが、病名が付かないぐらいの身体の病気の関係で、      授業に出席できない学校に行けない子たちの学習補償とか学習減のところ      の埋め合わせはどのような形で行っているのですか？</p>
<p>武田校長</p>	<p>例えば午後から来る子は、そのまま教室に来るケースもあるのですが、      教室で勉強をするよりも自分の勉強したいものがあれば別室で専門の先生      がワンツーマンでその勉強をしています。今1年生にもいますが、かみん      ぐホールを使ってできる範囲で数学の授業をする予定です。今週は国語、      今後は体育もやってみようかと体育館に来る予定です。また技術ののこぎ      り引きをやってみようかという事で、それぞれ残っている先生方で手分け      して1対1で対応しています。教室に行って勉強することが課題でも、こ      の部分をやってみるかとか、どうするかと必ず声かけをして、またやっ      てみようと言ったら持って行きますし、ちょっと難しいから違うやり方でも      それはそれでいいと思います。廊下にもプリントや課題用紙が置いてある      のです。日常的にこれをやってみようかと持って行ってやってみる、特に今      の子どもたちは、やりなさいと言ってやって身になるかと言うとあんまり      ならないと思います。こういう事をやるとこんな事があるから少しやっ      てみようという気持ちを大事にして進めていきたいとその様に思います。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>なかなか難しいことだと思いますが、具体的に個々にあった対応をされ      ているのですね。</p>
<p>武田校長</p>	<p>家庭訪問を定期的に行って学習や学習以外のプリントも持って行きます      し、保護者や本人と話ができる子は話をしています。</p>
	<p>学習補充のためにプリント学習も継続しています。本人がやろうと思え      ば少しずつでも出来る。その様な環境を整えて行きたいと思います。</p>
<p>安藤委員</p>	<p>今後それで成果ができれば一番いいですし、ICT を利用する事もビジョ      ンとしてはあるのですか？</p>
<p>武田校長</p>	<p>家庭に Wi-Fi 環境が無いとか、学校の今現在の Wi-Fi 環境も弱いのです。      ですから先生同士の会議も Zoom を使ってやっています。一つのパソコンに      3人が入ると止まってしまうので、実施するときには一つのパソコンで      一人か二人が精いっぱいです。ヘッドホンとマイクを付けてやるとすごく      快適にできます。1対1でやれば Wi-Fi 環境さえあれば何とかありますが、      子ども達に Zoom だけで勉強させようというのはなかなか集中が持たない      のかと思います。先生方はこんなふうにするのだよと受け答えできるから      いいのですが、ずっと見続けて勉強するのはなかなか子ども達にとっては</p>

桜田委員	<p>難しいのかなと思います。まだ Zoom の授業はやっていませんが 1 対 1 でやれば可能です。</p> <p>ICT はすばらしい取り組みと思いますが、スマートフォンを 8 割方持っている事で、自分の部屋に入ってしまったら制限が掛けられない、そこからいろんな問題が出てくるような気がしていますので、家族でもなかなか難しいと思うのですが。</p>
武田校長	<p>まず言える事は、持つ前に子どもと親の間でルール作りをしっかりやる事です。例えば朝は使わないとか、夜は午後 9 時までしか使わないとか、使う時には家族の居る居間で使うとか、そういうルール作りを何項目もきっちり決めて約束を守れる事を確認して持たせないと後でルールを追加してもこれはまるっきりだめなのです。持たせる時に約束を守らないと取り上げる確認して持たせなければならぬと思います。最初のスタートが自由に使える環境だと使いすぎる事になります。最初が大事だからと、事前に町の生徒指導のチラシや冊子も家庭のルールを決めましょうと学校から通知しています。それが徹底されないとなかなか難しいのかと思うので、これからの時代はスマホだとか ICT 機器を使う時代なので使う事はいいのですが、ルールを決めて使わないとどんどん使用時間は長くなって凄惨な状況になります。午前 3 時とか平気でゲームをやっているとかその言う話を聞くとがっかりします。ルール作りをしっかりやって持たせて、だめであれば回収するという親の教育として必要ではないかと思います。</p>
桜田委員	<p>もうそういう状況で、家族が取り上げることを子どもたちに受け入れてもらえるのですか？</p>
武田校長	<p>なかなか受け入れてもらえないですね。</p> <p>ただ本当にいよいよ酷くなったから取上げた家庭はありますが、なかなかスムーズにはいかないという現状なので、やっぱり持たせる前にちゃんと話しをしてルール作りをする事が大事だと思います。</p>
菊地委員	<p>今、コロナの中で大人もそうだと思うのですが、窮屈な生活が全体的にしていると思うのです。何かちょっと聞いてみたら子どもの窮屈な中で精神的に不安定になって暴力的になったりするとか、そういう子が目立ってくるかと聞きました。今の上川町ではどうでしょうか？</p>
武田校長	<p>コロナで閉じこもらなきゃならないから暴力を振るう事につながった案件は無いので少しほっとしています。コロナで休校になって朝から晩までだけ大丈夫だったと必ず聞くんですが、大丈夫でしたと言う子がほとんどで、良く取った方がいいのか、のんびりとゆっくりできるから良かったと取ったらいいのか何とも言えないですけど、あんまり精神的に苦しんでいる子はいないのかと思っているので良かったと思います。</p>
菊地委員	<p>学校の取り組みもある程度子ども達に合わせていただいているのかと思うのですがどうですか？</p>
武田校長	<p>ただ家に居る間ゲームが多くなったりするので、ゲームばかりやっていたらどうだろうとちょっと心配な部分もあるのですが、ストレスが溜まっ</p>

菊地委員 佐藤町長	<p>てどうしようもない子はあまり今まで無いです。 わかりました。</p>
伊端校長	<p>予定の時間もありますので中学校は終わりにさせていただき、引き続き小学校に移りたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
佐藤町長	<p>日頃から小学校の学校運営にいろいろなご支援とご協力をいただきまして本当にありがとうございます。 資料により説明（省略）</p>
安藤委員	<p>中学校とまた違う小学校の課題について説明を受け、一方コロナの影響を受けながら大変工夫をされ、ご苦労されたお話しを聞かせていただき有難うございます。また今最後にありましたように、社会見学・現場見学という重要な事で地域と結びついた非常にいい傾向かと思っています。予算も可能な限り支援をしたいと思います。その他委員から何かありましたらお願いしたいと思います。</p>
伊端校長	<p>中学校にも言いましたけどコロナの大変な中、いろいろな工夫をされながらまた違う形で教育的に実現して成果を出していく、今までと違う形を聞かせていただきました。教育委員として毎年学校訪問をしています、コロナで学校訪問が出来ないことから、実際に子どもを通して具体的に感じられないというのは、だいぶ状況が違うなと思っているところです。あと小学生の通学にあたって日頃挨拶とか声かけをする活動は、上川町の地域として特に今まで通りでいいのでしょうか？東川町で変な声をかけられたとか警察からメールが入ります。これは普通の挨拶じゃないかと思うような事も届くので接し方とかは今まだと同じでいいですか？</p>
安藤委員	<p>私は同じでお願いしたいと思います。 上川町については全然そう言う心配はしていませんし、子ども達に声をかけていただくと非常にプラスになるので継続してお願いします。</p>
伊端校長	<p>もう一つ、当たり前的事なのでしょうが、子ども達が横断歩道を渡りそうだなと思ったらその時点で止まった方がいいですか？いつも何回聞いても迷います。止まりそうだなとこちらで判断した時に止まった方がいいのか、生徒が来た時にどの辺の所で止まったら良いのか、共通した方がいいのか知らせてほしいと思います。</p>
佐藤町長 菊地委員	<p>子どもが交差点で止まっていた時に私も見たのですが、子どもが待っている時に車が止まってくれて、渡りなさいと指示されて渡っている姿を見まして、その時にその子が深々と礼をして渡っているのを見てこの町はこういう事が普通に行われているのだなと思いました。子どもが止まって待っている時に車が止まってくれたら、その様に渡れると思いますので子どもが止まっていたら止まっていただけだと思います。よろしくお願いします。</p>
佐藤町長 菊地委員	<p>他によろしいですか？ これから雪の時期になってきますと、雪山の所で子ども達が遊んでいて結構危ない場面を見かけるのですが、きっとそういう指導はしていると思</p>

伊端校長	<p>うのですけども、運転をしている方としてはもう少し子ども達が安全に歩いてくれるとありがたいと思うので、飛び出しの注意はしていると思いますがより一層指導してもらおうとありがたいと思うのです。</p>
伊端校長	<p>昨年度と比べて、夏の間子どもの自動車の乗り方が悪いと指摘を受けました。その都度出向いて子どもを見つけて指導していました。全体に指導したのとそういう時間帯に先生方で見まわりするのも大事だなという事でそれを行っています。今後については雪山がありますので、その事については指導してまいります。同じように見まわって行くというのも大事だなと思います。あとその時じゃなくてもいいのですが、そういう所を見かけたら学校にこんな姿を見たよと教えていただければ、それを基に指導できますのでその辺も連絡よろしくお願いします。</p>
菊地委員 佐藤町長	<p>わかりました。</p> <p>子ども達にも意識を広げてもらいたいし、行政の立場でもそこはしっかり安全対策をもっときっちりやっていかないと苦情が来ます。言い訳では無いのですが、子どもが通う道道なんです、町道でしたら少し状況に応じてやれるのでしょうが、道道なものですから以前はそれでも危なかったらすべて排雪まで行かないまでもカットするとか、見通しのいいように対応してほしいと北海道に話をすると意外とやってくれたのです。しかし北海道の機構改革を数年前にありまして、支庁じゃなくて総合振興局になりました。その時求めたのが、今の総合振興局の機能として人や財源の権限を北海道から下ろすべきだと充分主張してきたのですが、結果的にはまったく逆の状態です。以前はひと声かけたら大体対応してくれたのですが、今はそんな権限すら北海道本庁に持って行かれてしまいました。話をするとうちでは対応できません、本庁と相談します、これが今の実態です。この辺も要望していかなきゃいけないと思いますし、子どもの安全を確保しなければならぬと思います。</p>
菊地委員	<p>特にスーパーマーケットの前だと大人も少し危ない人もいるのですが、だからお互い気を付けなければいけないのですが、子ども達にももう少し気を付けてもらいたいなという部分もあるかなと思います。</p>
佐藤町長	<p>結構年配の人も危ない運転もする人もいるので、どちらも気を付けて一つでも事故が起こらない様になったらいいと思います。</p>
佐藤町長	<p>我々も高齢者の域で、自分でそういう運転をしない様に気を付けてもそうはいかないのが現状なものですから、子ども達もそういった意識を持ってもらわないといけない面もあります。</p>
菊地委員	<p>大人は絶対止まってくれるとは限らないので。</p>
佐藤町長	<p>他はどうでしょうか？</p>
谷越委員	<p>活字離れは10年前ぐらいから言われていますが、実際活字離れというのは感じるものでしょうか？</p>
伊端校長	<p>一番の情報を入れるものとして本だとかそういうものがあるのは事実ですが、先程中学校で出ていたようにスマホを持っている子どもについては</p>

谷越委員	小学生の方でも徐々に増えています。そういったところでは活字離れも増えてくると思いますが、今後はそう言っていられないとの思いもあります。
伊端校長	情報ツールがアナログからデジタル化する事によって、確かによく広がり自分の興味の持てるものを気軽に振り分けるメリットがある反面、危険な部分もある事ということで、4年生以下はそういうのはあまり出ていないですが、今後は出てくるのかなと思います。3年生の中でもいじめに関して素直に調査を出してくれるのは非常にいいと思っていて、先生方と子どもたちと良い関係は出来ているのだとこのような事に関して日頃から何かされているのですか？
谷越委員	北海道で年2回いじめの調査をやっています。日頃からそれに向けて先生方がよく見ているという事もあるのですが、なかなか見えないものがこのいじめの問題点です。それについて報告が上がってきたものについて、子ども達と相談して話し合いをしている事で解決を目指しています。それに合わせた教育相談の週間を設定して子ども達の悩みとか何かないかという話しを一人一人時間として担任と話をする機会をもって、情報を得るように子ども達の不安を解消していく事に取り組んでいます。
伊端校長	個別にこの様に対応する事はいいと思います。小規模の教育実践できる環境だからなお良いのだと思いますし、6年生ぐらいになったら個人のやりたい事や興味の物の目標をしっかりと出してきて、いろいろ書かれていて成長の頼もしさを感じるのですけども、プログラミングしたい子が書いてありますが環境は学校であるのですか？
谷越委員	今年度からプログラミング教育は始まっていますし、ソフトを導入して初歩の段階ですが取り組んでいます。
伊端校長	3年生で助産師になりたいとこんな小さいうちから将来を考えている。先生方のやり取りの中で、色々な情報が入って自分のやりたい方向性とか家族との話だとかそういったものがそうさせているのかなと思ったのですが、その様な感じでしょうか？
桜田委員	学習の中でもそういった場面はあるのですけども、3年生ぐらいの子どもにとって一番保護者とか家庭の出来事、その事がその様な目標を持つ子が多くなります。教育相談であったのですが、不安だけじゃなくてそういった興味のあった思いを話すようにして、それについてフォローしてあげる、支援してあげる事も行っています。
伊端校長	一般的に外で出る子ども達は元気ですし心配ないと思いますが、中学校に入ってから不安や悩みが出てきます。子ども達というのは小さい時から何かしら家庭環境が関わっていると思うのです。小学校の時は大きな問題にならなくても何か見えてくるものがあるのじゃないかと思って、そういうところが汲み取って行けるようなことがあったらいいなと思います。
伊端校長	学校は今のところ不登校児童はいないのですが、登校しぶりや朝あまり学校に行きたくない子が数名います。そこについても保護者といろいろ連携を取って取り組んでいますし、先生の方からかなりアプローチをしてい

る事と、また学校での状況を保護者にしっかり伝えるのが大事なので、伝えながらそれでマイナスなものじゃなくて、お互いに頑張っていきたいと思いますという気持ちになれるように取り組んで行って、共に小学校の内にそういうものについても解消して行って中学校に進学させていきたいと考えています。

佐藤町長

よろしいですか？

予定の時間がきました。聞いていての一つの感想ですが、行政の立場で先程 ICT の活用の話がありましたし、これからどう有効活用するかは課題になっています。教育委員会でも特に子ども達に対する家庭における Wi-Fi 環境がないという個々の対応を個別にやっとうとを考えています。また町全体の Wi-Fi 環境の光整備ですが、光ファイバーも全町的には 93% ぐらいの整備に止まっていて市街地と層雲峡だけなのです。これから農業・スマホ等含めてむしろそちらの方に必要とするシステムかと思っております。今年度・来年度にかけて 100% の整備率を目指そうと今進めています。それから最初に子ども達社会の役に立つというこれが大きな子供の成長にとって意味を持つと思っております。これも子どもに限らず高齢者対策を町づくりで対応しながら高齢者の皆さん方も同じなのです。自分の存在価値、社会の中でどう役立っているかこういったものを意識できる事は本当に大きな生きがいになっている訳です。こういう環境をどう作っていくか、そういう意味では町職員のように一定の定年を迎える事とは違いますが、特に町の会計年度任用職員ですが年齢制限をもうけないで働けるところまで働いてもらおうという事で 60 才や 70 才で止めないで働ける人には働いてもらう。こういう対応の仕方で拡大してきています。まだまだ 60 才も 70 才過ぎても働ける人あるいは他に負けない色々な経験知識というものを持っていますから、こういうものをまたどう社会的に生かしていくかという事も一人一人やはり高齢者にとって生きがいに繋がっていくと思っておりますので、こういったところもぜひ重要なテーマとして進めていく必要があると思っております。

あと子育て環境、先程お褒めの言葉が前段ありましたけど、毎年幼稚園や保育所に行っていない子ども、つまり子育て支援センター対象ですが毎回ふれあいトークで 10 人ぐらいの子ども連れの皆さんとお話する機会がありまして、その中で我々は気付いていない非常に子育て環境には恵まれた市町村だと町の政策も非常にこんなに素晴らしい政策をやっている所は無いですよと言うお褒めのお言葉を頂いて大変うれしくなるのですが、やっぱりこれからの町づくりの子育て環境を整えるかはすべての町の政策であり、町づくりに通じる話でありますから最重要行政課題としてこれからもやはりそれに対話していく必要があるなと思っております。あと最後になりますが先程も話がありましたコロナによって何か気付かされたそういう事も少し見えてきたものもあります。コロナによってこの事が本当に自分たちの仕事をやっている事がはたしてどうなのか、特に我が町の例で行くと

	<p>先程層雲峡温泉の話もしましたが、非常に大きな変化を求められているという、いよいよそういう状況になっていくのでしょうか。幸いにしてこれを期にやっぱり層雲峡観光が本当にこれでいいのか？ここまでの観光形態でいいのだろうか？団体のお客さん中心の考え方はどうなのだろうか？そういう意味では国内のお客さんをどうやってまた呼び込んでいくのか非常に大きな課題になっていまして、言い替えると層雲峡観光の質を変えていかなきゃならない。現在の観光ニーズに对应される、耐えられるそういう観光にしていかなきゃならないという事を皆さん口にしています。</p> <p>これはある意味コロナのおかげで少し町の主産業である観光も変わりつつあるかとそんな意識があるうちは大丈夫かなとそう思っています、大変厳しい状況にありますがそんな事も報告させていただいて、とにかく今はこのコロナをどう乗り切るかという事が重要になっていきます。</p> <p>一言感想を申し上げましたが、協議については以上で終わらせていただきますが、その他では議題は何かあるのですか？</p>
西木課長	<p>事務局からご提案ですが、総合教育会議は昨年まで年2回開催してきているところですが、今年度は年1回という事にさせていただきます、重要性や緊急性があるものについては随時開催させていただくとしたいと思います。また、来年以降についても基本的には定例としては年1回の開催で進めさせていただければと思います。</p>
佐藤町長	<p>事務局の提案ですがその様な事でよろしいですか？  (はいの声)  有難うございます。その様にさせていただきます。  それでは第1回目総合教育会議はこれで終わらせていただきたいと思います。今後もよろしく願いいたします。今日は有難うございました。</p> <p>閉会（午前11時50分）</p>

議事録署名委員

議事録署名委員